



# 扉【とびら】

宇部市立藤山中学校  
1 月 号  
2021. 1. 25 発行

素敵な未来の創造に向けて

校長 海 頭 巖

「新しい年を迎えました。令和三年が『お陰様と有難うに包まれて、心穏やかに、そして和やかに命の灯りを灯し続けられる』そんな年にしていきたいものですね。恩を受けた人への『恩返し』を、直接返せない時には『恩送り』を心に刻み、周りを見渡してみましょ。この世はすべて『お互いさま』と『お陰様』なのですから…。」と校内掲示『明日の元気のために』に示しました。ところが、8日（金）～11日（月）の間は、ここ数年経験したことのないような大雪に見舞われ、日常生活が混乱しました。わが家は屋根に積もった雪が軒に落ちて軒の差し掛けが壊れ、数万円の被害に……。 「心穏やかに」どころではなかったのです……。皆さんのお家は大丈夫でしたか。

そのような折、腹を立てても仕方がないので、いろいろ考えごとをしていたら「ふと、『春には春の気象があり、秋には秋の気象がある。人間も独特の気象が出てくれば出来た人という。』（安岡正篤）」という言葉思い出しました。これは、『気象』と『気性』を掛けています。単に個性が現れ出てきたということではなく、自分の個性を何のために生かせるか、役立たせられるかが問われているのだと思います。また「もし自分の個性を気象にたとえると、どの季節のどんな気象なのだろうか」などと想像してみるのも楽しいですよ。「私のようなこの『希少な気性』は、『出来た人』なのでしょうか？そんなはずは……」。

校内掲示『明日の元気のために』には、もう一つ次のことを示させてもらっています。それは「『未来の扉は志を抱くものに向けて今日も開かれている』と言われます。『志』とは心が指すもの。目が指す（目指す）ものより崇高なものです。念を入れて、『今、ここ』を大切にしていけば自然と『志』は生じてくるものです。『念』という文字は『今の心』と書きますね。さらに『今、ここ』の思いを強くもち『志』を育てていきましょう」と。

夢や目標がなければ、感じることはないのですが、人は夢や目標を持つと必ず目の前に壁が立ちはだかり、その壁を乗り越えることだけを意識しすぎて、視野が狭くなったりします。壁を乗り越えることも大事なのですが、壁を乗り越えることよりも、それをどう乗り越えるかがもっと大事だと思うのです。やり方を真剣に考えて取り組めば、何をやっても実力を伸ばせるはずです。道筋（戦略）が見えたら、どうやる（戦術）を考えてみましょう。

さて、勉強という道具は、『自分を磨くため』『人の役に立つため』という二つの目的をもっているといわれます。この二つの目的を使えたときにこそ、初めて正しい使い方をしたといえるのです。未来の自分が「こんな毎日なら素敵だなあ」と思えるような毎日を実現するために今勉強しているのです。また、これから先で、もし今の自分以上に人の気持ちが理解でき、意志が強い人になれているとしたら、そんな自分と出会う他者は「あなたに会えて良かった」と今の自分のままでいる以上に思ってくれるはずです。

想像力をしっかり使って、行動力を引き出していきましょう。より具体的に想像し行動に繋げ、素敵な未来を創造していける年にしていきましょう。

今年もよろしくお願ひします。